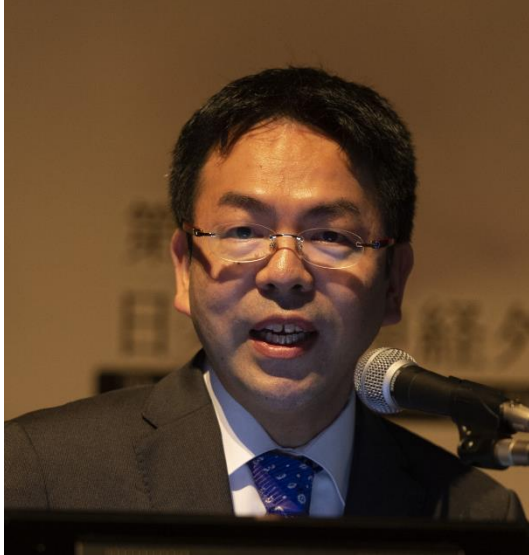


理事、倫理委員会委員長



私は 1997 年に大学を卒業し、2000 年より学位研究としてアルツハイマー病の神経化学的研究に着手しました。ちょうど、アミロイド  $\beta$  蛋白凝集に関する学位論文が *Journal of Neurochemistry* 誌に発表させていただいた 2002 年頃、金沢で開催された脳神経内科の研究会で、新潟大学脳神経内科の西澤正豊教授（現、新潟医療福祉大学学長）に会わせていただく幸運に恵まれました。その際に神経化学会を紹介されて入会し、約 20 年間、臨床領域では脳神経内科の専門医学会である日本神経学会、基礎領域では日本神経化学会を 1 番のメイン

学会として活動してきました。その間、日本神経化学会大会にて一般口演、ポスター発表、シンポジウム、教育講演、若手セミナー、ランチョンセミナーなど多くの発表や座長の機会をいただき、自分を成長させていただくことができました。2007 年には西澤先生の後輩でもある柳澤勝彦先生、馬場広子先生のご推薦を賜り、評議員にさせていただきました。設立趣旨にもあります、「精神・神経疾患をあつかう臨床研究者と基礎研究者が一体となって情報交換を行い、分子というキーワードに基づいた精神神経疾患の原因や治療法の開発に繋がる多くの研究成果が発表される本学会」で認めてもらえるような研究をしたいと思い、脳神経内科の立場ならではの神経化学的研究を心がけて精進してまいりました。このように自分の人生に長く関わってきた、日本神経化学会理事の末端に加えていただき、誠に光栄に存じます。まだまだ浅学非才の身ではありますが、本学会の発展に少しでも貢献できますよう努力致しますので、皆様のご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

昭和大学医学部内科学講座脳神経内科学部門 教授（診療科長） 小野 賢二郎